



せせらぎ通信



今月号では最後の2学年揃うマラソン大会と、さわの里小学校での地域防災訓練についてお伝えします。

マラソン大会①

2月1日、海の公園にて開催されたマラソン大会。天気は曇りで、風は弱く、走りやすい気候でした。体育の時間の持久走では、少しでもノルマより、多く走ろうとそれぞれが一生懸命走っていました。さらに、上位50名のシード権を目指し、頑張っていました。本番当日、シード権を持っている選手は、実際のスタートラインよりも20メートルほど前からスタートしました。スタートの合図と同時にものすごいスピードで走り始めました。男子も女子も全力で走っていて、見ていてとても気持ち良かったです。私自身走っているとき、声援が聞こえてきて、ゴールまであきらめずに走りきることができました。走った後は達成感でいっぱいでした。1年生にとっては初めてのマラソン大会で、走る前はとても緊張しましたが、とてもよい経験になりました。来年度のマラソン大会は、今年よりもよい順位をとれるよう頑張りましょう。

走り終わった後、PTAの方々にお菓子と飲み物をいただきました。走り終わった後だったので、いつもよりおいしく感じました。

マラソン大会終了後の成績発表は、大変盛り上がりました。メダルをもらった10位入賞者たちはとても嬉しそうでした。(1-7 廣川・木村・迫・佐藤)



マラソン大会②



2月1日、金沢八景にある海の公園という所でマラソン大会が行われました。当日はとても気温が低く、海の近くなので風が強くて途中走りにくくなることもありました。男子が5.3 km、女子が4.3 kmという普通の体育で走る距離よりも少し多めの長さで大変でしたが、毎回の授業で練習していたせいかを発揮できたからか、ペースを乱すことなく最後まで走りきることができました。途中で近隣の幼稚園の子どもたちが「がんばれー」と先生と応援しに来てくれるという微笑ましい場面もありました。

上位に入れた人たちも入れなかった人たちも、ともに体育の持久走からマラソン大会当日まで頑張ってきて、クラス内、学年内の仲がとても深まった約3週間でした。来年のマラソン大会は1学年だけですが、次も期待ができそうだと思います。(1-4 荒野・渡邊)

地域防災訓練

私は1月27日にさわの里小学校で行なわれた防災訓練に、生徒会として参加しました。当日は氷取沢高校の生徒や地域の方々と一緒に、災害時に使う大型釜でご飯を炊いたり、防災グッズの使用方法を確認したり、小学生による災害時の対応についての劇を観ました。この防災訓練に参加し、実際に首都直下地震などの大地震が起きた時に、私たち高校生がいち早く救助やサポートをし、他校や地域の人たちの枠を超え一丸となって協力し合う姿勢を作ることが大切だと確認できました。(2-7 櫻井)



磯子職員コラムリレー 第2回 中野先生(英語科)

「一人旅の楽しみ」

初めて一人で旅行したのは高校1年から2年になる春休み。宮崎から鹿児島へ。当時は新幹線も岡山止まり。大阪から夜行列車で向かいました。一人きりの旅行は寂しくても思い切り自由に行動できる楽しさがありました。今でも、日南海岸の海の色や、ローカル線沿いの菜の花畑、桜島の雄大さや指宿温泉の砂風呂の熱さなどが肌を通して思い出せます。もう40年以上昔のことです。それ以来一人旅ばかりしてきました。ローカル線で何となく途中下車したら、次の列車は4時間後でした。人気のない教会の奥庭で、オートロックと知らずにドアを閉めてしまい、半日閉じ込められたこともありました。それでも、一人旅の自由さや気持ちは魅力にあふれています。皆さんも若いうちにぜひ一人旅の楽しみを味わってみてください。